

住むことが誇りに 思えるまちとは？

町長

真に豊かな暮らしの 創造である



西山 富三郎 議員



「かあらやま」で健康づくり

【西山】まちづくりとは。

【町長】行政施策はハード事業やソフト事業だけでない。

「まち」に住むすべての人々が、それぞれの分野の知識やさまざまな情報を共有しながら、継続的な活動をおして真に豊かな暮らしを創造していくことである。

【西山】人権のまちづくりとは。

【教育委員長】町民の

だれもが相互に人権を尊重しあうことができる

「まち」をつくっていくことである。大山町人権尊重社会づくり条例を制定し、さまざまな取り組みを進めている。

【西山】高い自治能力が開かれたまちとは。

【町長】行政と住民が情報を共有することが欠かせない条件になる。これが実現されている「まち」である。

人権・同和研究大会の 改善は？

町長

内容を見直す

改善は？

【西山】人権思想とは。

【町長】イギリスの思想家ロッキンは、人が生まれながらにして持つ、個人の生命・自由・財産

は、どんな権力も犯すことができないと主張し、今日の基本的人権の考え方となっている。

フランスの思想家ルソーは、国の権力は、もともと人民にあると主張し、今日の国民主権、人民主権の考え方となっている。

フランスの思想家モンテスキューは権利の保護のためには権力の分立が必要と主張し、今日の三権分立につながっている。

これらの主張が人権

思想を確立し、市民革命を支える思想となり、

民主政治の確立に大きな影響を与えたと言われている。

【西山】人権・同和研究大会が講演会になっている。改善を求める。

【町長】ここ数年講演のみになっている。

行動化につながるよう実践交流・シンポジウムなどを盛り込む内容にし、本来の趣旨に改善する。



人権セミナーで学ぶ